

科目名	スタイリング演習 I	整理番号	
学科	ファッションビジネス	期	通年
コース	スタイリストコース		昼間
学年	1	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	120	作成者	栗野博恵
【科目の到達目標】			
スタイリストアシスタントの仕事の役割・内容を理解させ、現場において即戦力になる知識・技術を修得 ファッションショーの運営能力を修得			
【科目の概要】			
「発想-提案-修正-撮影」といった実際の現場に沿った授業形態でスタイリストの仕事を理解する ショーのテーマ決め・スタイリング・モデル選定・ヘアメイク・演出まで一連の流れを学び、実際にスタイリングショーを行うことにより実践力を身に付けさせる			
【授業計画】			
90分/コマ		前期	後期
1 2	スタイリスト概論	31 32	上安祭 実物審査
3 4	スタジオワーク/スタイリングテクニック	33 34	上安祭 リハーサル
5 6	体型別コーディネート/アイロン実習	35	上安祭 リハーサル
7 8	国別コーディネート ラフ画	36 37	上安祭
9 10	国別コーディネート スタイリングチェック	38 39	上安祭 ロケ撮影
11 12	国別コーディネート 撮影	40 41	上安祭 総評/パーソナルカラー
13 14	国別コーディネート 撮影	42 43	パーソナルカラー
15 16	浴衣スタイリングショー プレゼン/ラフ画	44 45	広告のスタイリング ラフ画
17 18	浴衣スタイリングショー 着付けレッスン	46 47	広告のスタイリング スタイリングチェック
19 20	浴衣スタイリングショー スタイリングチェック	48 49	広告のスタイリング 撮影
21 22	浴衣スタイリングショー 最終チェック/ウォーキング	50 51	広告のスタイリング 撮影
23 24	浴衣 撮影/上安祭 ラフ画&プレゼン	52 53	広告のスタイリング プレゼン
25 26	ゆかたスタイリングショー	54 55	雑誌別スタイリング MAP
27 28	上安祭 スタイリングチェック	56 57	雑誌別スタイリング スタイリングチェック
29 30	上安祭 スタイリングチェック/ウォーキング	58 59	雑誌別スタイリング プレゼン
		60	テスト
【成績評価方法】			
提出物評価60% テスト30% 授業態度10%			
【教科書・参考書】			
スタイリングブック ファッションスタイリング検定3級テキスト			
【教材・教具】			
各種プリント カラーカード 色鉛筆 スチームアイロン ミトン スタイリングバック フェイスカバー のり はさみ テープ類 ケント紙 ファッション雑誌			
【実務経験の内容】			
商業施設や企業等の広告を中心として、10年以上におよぶスタイリスト活動の実績を活かし、スタイリストとして必要な運營業務の演習を指導する。			

科目名	スタイリングデザイン I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期30回 後期30回
コース	スタイリストコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義40% 実習60%
時間数	120	作成者	阪田 優

【科目の到達目標】

コンセプトをかみ砕き、イメージを形にするデザイン思考の能力を高める。
 人体のプロポーシヨンの理解とアイテム画、スタイル画の描き方とテクニックを修得する。

【科目の概要】

デザイン思考のプロセスを学び、イメージを形にするためのトレーニングを行いスタイリングの提案能力を高める。スタイリストに必要なアイデアやコンセプトを、平面画(アイテム画)やスタイル画に表現するための、テクニックを修得する。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1 2	導入 / コラージュ	31 32 外部イベント/デザイン
3 4	ドローイング / コラージュ発表 (ヌードボディの書き方)	33 34 外部イベント/スタイリング
5 6	ドローイング (片足重心の書き方)	35 36 8つのトレンド感性/ ハンガーイラスト
7 8	ドローイング (着色)	37 38 8つのトレンド感性/ ハンガーイラスト
9 10	ドローイング (スタイル画)	39 40 8つのトレンド感性/ ハンガーイラスト
11 12	ファッションデザインのもと1 (エレガントとスポーツ)	41 42 8つのトレンド感性/ ハンガーイラスト
13 14	ファッションデザインのもと2 (フォークローアとモダン)	43 44 8つのトレンド感性/ ハンガーイラスト / シャツ・ブラウスのデザイン
15 16	2021-22 A/Wトレンド リサーチ	45 46 8つのトレンド感性/ ハンガーイラスト / スカート・パンツのデザイン
17 18	2021-22 A/Wトレンド 分析	47 48 8つのトレンド感性/ ハンガーイラスト / コートのデザイン
19 20	2021-22 A/Wトレンド ラフ画&マップ	49 50 8つのトレンド感性/ ハンガーイラスト / アクセサリーのデザイン
21 22	2021-22 A/Wトレンド プレゼンテーション	51 52 トータルコーディネート1
23 24	シルエットとライン	53 54 トータルコーディネート2
25 26	ファッションと音楽の関係性	55 56 トータルコーディネート3
27 28	スタイリングショー リハーサル	57 58 総復習
29 30	スタイリングショー	59 60 テスト

【成績評価方法】

実践の評価60%、期末試験30%、授業態度10%

【教科書・参考書】

ファッションスタイリング検定 3級テキスト WWD
 菅原正博・山本光子「ファッションマーケティング」ファッション教育社

【教材・教具】

のり はさみ ケント紙 ファッション雑誌

教科名	スタイリング造形 I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	スタイリストコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義20% 実習80%
時間数	120	作成者	ホウーシャ瑠伊 阪田優

【授業の到達目標】

洋服の構造を理解し、ファッションビジネスにおける洋服の製作工程を把握する。

【授業概要】

将来的にスタイリストを含むアパレル商品を扱う職に就く為に、洋服の扱い方やアイロンの当て方や「リメイク」に必要な知識を身につける。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1・2	導入	31・32 ブラウス製作Ⅶ/上安祭りメイク
3・4	ミシン・アイロンの説明(講習会)	33・34 ブラウス製作Ⅷ
5・6	ミシン練習	35・36 ブラウス完成/発表
7・8	手縫いの基礎Ⅰ	37・38 ブラウスリメイク技術紹介
9・10	手縫いの基礎Ⅱ	39・40 ブラウスリメイク
11・12	生地屋リサーチ	41・42 ブラウス発表/スカート製作Ⅰトレース
13・14	ブラウス研究Ⅰ/分解	43・44 スカート製作Ⅱ/生地裁断
15・16	ブラウス研究Ⅱ/組み立て	45・46 スカート製作Ⅲ/表地作り
17・18	ブラウス研究Ⅲ/発表	47・48 スカート製作Ⅳ/裏地作り
19・20	ブラウス製作Ⅰトレース/裁断	49・50 スカート製作Ⅴ/ファスナー付け
21・22	ブラウス製作Ⅱ	51・52 スカート製作Ⅵ/裏地合わせ
23・24	ブラウス製作Ⅲ/身頃ポケット	53・54 スカート製作Ⅶ/ベルト付け
25・26	ブラウス製作Ⅳ/見返し付け	55・56 スカート製作Ⅷ/仕上げ
27・28	ブラウス製作Ⅴ/上安祭りメイク	57・58 スカート発表/提出
29・30	ブラウス製作Ⅵ/上安祭りメイク	59・60 修業テスト

【成績評価方法】

課題作品の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社 改訂版 上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版
『服飾造形』上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

洋裁道具一式・筆記用具・生地(指定)

科目名	メイクアップ&ヘアスタイリング I	整理番号	
学科	ファッションビジネス	期	通年
コース	スタイリストコース		昼間
学年	1	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	120	作成者	柴田弘子
【科目の到達目標】 シュウウエムラのカリキュラムによるメイクの基礎技術、基礎知識の習得 シュウウエムラのカリキュラムによるメイクの基礎技術、基礎知識の習得			
【科目の概要】 近年、街中には同じようなヘアメイクが溢れています。その中で、スタイリングのイメージ、テーマにあったヘアメイクを創り、作品として残す。その為の技術を修得する。			
【授業計画】 90分/コマ		前期	後期
1.2	道具、用具、配布教材の説明	1.2	ヘアー
	セルフスキンケアの方法	3.4	上安祭ショーヘアメイク
3.4	相モデルにてスキンケアレッスン	5.6	上安祭ショーヘアメイク 本番
5.6	同上	7.8	年代別メイク 50年代
7.8	同上技術テスト	9.1	年代別メイク 60年代
9.1	相モデルにてベースメイクアップ	11.12	応用メイク
11.12	同上	13.14	年代別メイク 70年代前半
13.14	相モデルにてスキンケア～ベース メイク技術テスト	15.16	年代別メイク 70年代後半
15.16	相モデルにてカラーメイクアップ	17.18	ヘアー
17.18	相モデルにてアイメイクアップ	19.2	ヘアー
19.2	相モデルにてアイブロー	21.22	マップ制作 I + 練習用ウイッグシャンプー
21.22	浴衣ヘアメイク	23.24	マップ制作 II
23.24	浴衣ヘアメイク	25.26	マップ制作 III
25.26	相モデルにて基本のフルメイク 技術テスト、スキンケアテスト	27.28	テーマメイク
27.28	相モデルにてフルメイクの復習	29.30	テーマメイク技術テスト、ペーパーテスト
29.30	相モデルにてフルメイク		
【成績評価方法】 40%課題作品 40%試験 20%授業態度			
【教科書・参考書】 配布プリント等			
【教材・教具】 シュウウエムラSCHOOLS2018			
【実務経験の内容】 20年以上におよぶヘア・メイク業務の経験を活かし、スタイリストに必要な知識・技術を指導する。			

科目名	ファッションビジネス理論と演習Ⅰ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	スタイリストコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 50% 実習 50%
時間数	120	作成者	ホウーシャ瑠伊

【科目の到達目標】

ファッションビジネスの基礎知識、マーケティングの基礎知識、スタイリストに必要なファッション知識を講義と演習により修得する。ファッション業界に必要なファッション用語や市場情報の収集・分析方法を修得し、クライアントに求められるスタイリストとしてのファッションビジネススキルを培う。

【科目の概要】

ファッションビジネスの基礎知識を中心に、ファッション商品が出来上がるまでの流れと、それに関する企業の組織と機能を講義やグループワークにより学ぶ。
ファッション商品知識と日本と世界の年代別ファッションをマップ製作により学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1・2	ファッションスペシャリストとは 自己マップ		31・32 百貨店とショッピングセンターⅠ リサーチ
3・4	ファッションビジネスの定義と特性Ⅰ 自分マップ発表		33・34 百貨店とショッピングセンターⅡ ディスカッション
5・6	消費者行動とファッション生活Ⅰ 雑誌分解		35・36 百貨店とショッピングセンターⅢ プレゼンテーション
7・8	消費者行動とファッション生活Ⅱ 雑誌分解発表		37・38 ファッション小売業の概要Ⅱ WWDトピック別ワーク 研究
9・10	消費者行動とファッション生活Ⅲ オケージョンマップ(プライベート)		39・40 ファッション小売業の概要Ⅲ WWDトピック別ワーク プレゼンテーション
11・12	消費者行動とファッション生活Ⅳ オケージョンマップ(ソーシャル)		41・42 キャリアワークⅠ
13・14	消費者行動とファッション生活Ⅴ オケージョンマップ(オフィシャル)		43・44 キャリアワークⅡ
15・16	ファッションビジネスの定義と特性Ⅱ アイテムマップ		45・46 ファッションビジネスの歩みⅡ 世界の年代別マップ 50年代
17・18	繊維ファッション産業の流れⅠ アイテムマップ		47・48 ファッションビジネスの歩みⅢ 世界の年代別マップ 60年代
19・20	繊維ファッション産業の流れⅡ アイテムマップ		49・50 ファッションビジネスの歩みⅣ 世界の年代別マップ 70年代
21・22	繊維ファッション産業の流れⅢ アイテムマップ		51・52 ファッションビジネスの歩みⅤ 世界の年代別マップ 80年代
23・24	ファッション消費と消費者行動Ⅰ アイテムマップ 解説		53・54 ファッションビジネスの歩みⅥ 世界の年代別マップ 90年代
25・26	特別講師授業		55・56 世界の年代別ファッション研究 ディスカッション
27・28	ファッション消費と消費者行動Ⅱ		57・58 テスト
29・30	ファッション小売産業の概要Ⅰ 終業テスト		59・60 世界の年代別ファッション研究 プレゼンテーション

【成績評価方法】

課題点 60% 修業テスト 30% 授業態度・小テスト 10%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

- ・財団法人日本ファッション教育振興協会『ファッションビジネスⅠ』改訂版ファッションビジネス能力検定試験3級準拠』財団法人日本ファッション教育振興協会 平成20年3月1日発行
- ・菅原正博・山本光子『ファッション・マーケティング』ファッション教育社
- ・ファッションビジネス学会・監督『ファッションビジネス用語辞典訂正版』文化出版局
- ・高村是州『スタイリングブック』グラフィック社 1993年4月4日25日発行

【教材・教具】

- ・ファッション雑誌 ・デザイン用具 ・ケント紙 ・A4ファイル ・B4ファイル

科目名	コンピュータ演習 I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	スタイリストコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 10% 実習 90%
時間数	60	作成者	松下絢子

【科目の到達目標】

Microsoft Word Microsoft Excel Microsoft Power Pointの基本操作を理解し、文書、表計算、プレゼンテーション書類の作成ができる。
Adobe Illustrator Adobe Photoshopでの画像、イラスト作成できる。撮影データをイメージ通りに加工できる。

【科目の概要】

IT社会に対応するため、基本的なソフトウェアの使い方を修得する。
目的に合わせてソフトウェア選択し、使いこなせる。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	PC基本操作① gmail、顔写真、Googleドライブ		16 イラストレーター応用テクニック① adobe Illustrator
2	PC基本操作② USB、ネットリテラシー、おしゃれスナップ		17 イラストレーター応用テクニック② adobe Illustrator
3	トレンドマップ作成① Adobe Photoshop、おしゃれスナップ		18 名刺① adobe Illustrator
4	トレンドマップ作成② Adobe Photoshop		19 名刺② adobe Illustrator
5	トレンドマップ作成③ Adobe Photoshop、共有フォルダJPEG		20 名刺③ adobe Illustrator
6	トレンドマップ作成④ ドライブ		21 国別① adobe Illustrator
7	ゆかたインスピレーションマップ		22 国別② adobe Illustrator
8	Googleスプレッドシート		23 国別③ adobe Illustrator/Adobe Photoshop
9	Googleスライド①		24 雑誌表紙① adobe Illustrator/Adobe Photoshop
10	Googleスライド②		25 雑誌表紙② adobe Illustrator/Adobe Photoshop
11	イラストレーター基礎① adobe Illustrator(ツール説明)		26 雑誌表紙③ adobe Illustrator/Adobe Photoshop
12	イラストレーター基礎② adobe Illustrator(チェック)		27 雑誌表紙④ adobe Illustrator/Adobe Photoshop
13	イラストレーター基礎③ adobe Illustrator(上安祭)		28 雑誌表紙⑤ adobe Illustrator/Adobe Photoshop
14	イラストレーター基礎④ adobe Illustrator		29 まとめ Microsoft Word, Excel, Powerpoint
15	テスト		30 テスト

【成績評価方法】

課題点 60%
テスト 30%
平常点(授業態度) 10%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

【教材・教具】

パソコン・USBメモリー
アトリエコスモスSOHO情報局『すぐできるPhotoshop+Illustrator写真・壁紙・ロゴ デザイン』成美堂出版

科目名	ビジネスマナー I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	スタイリストコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 60% 実習 40%
時間数	60	作成者	津森 裕子

【科目の到達目標】

就職活動時の企業訪問や面接試験に必要な社会人としての基本的なマナーを身につけます。卒業後の企業人として必要なコミュニケーション能力やマナーの応用力を養っていきます。美しい立ち居振る舞いを習得しワンランク上の人材を目指します。また、サービス接客検定2級・準1級の取得も目指し、達成感や自信につなげます。

【科目の概要】

この科目では人と人とのつながりの基本のコミュニケーション力を育成します。マナーの基本でもある身体言語（表情・態度・身だしなみ・挨拶）と言葉づかいを実践的に学習します。立ち姿から、笑顔の作り方、メリハリのある話し方を、楽しく覚えて頂きます。コミュニケーション能力を養って、魅力ある社会人を目指しましょう。

【授業計画】

前期		後期	
90分/コマ			
1	ビジネスマナーの必要性 (マナーチェックシート)	16	サービス接客検定 筆記対策 ① (資質・専門知識・一般知識)
2	インターネットのモラル (SNS拡散の影響 著作権侵害など)	17	サービス接客検定 筆記対策 ② (対人技能)
3	挨拶の重要性と心のこもったおじぎ (綺麗な姿勢から歩き方のレッスン)	18	サービス接客検定 筆記対策 ③ (実務技能)
4	基本の自己紹介・面接対策授業 (第一印象にかかわる基本)	19	サービス接客検定 筆記対策 ④ (過去問題練習)
5	言葉以外のコミュニケーションの手法 (アイコンタクト・表情・発声・発音)	20	サービス接客検定 筆記対策 ⑤ (準1級面接対策)
6	基本の姿勢 身ごなし ビデオチェック (1～5確認テスト)	21	就職活動で必須 自己分析の重要性 (性格・ライフプランニングシート作成)
7	敬語の総復習※ミニテスト (第一印象にかかわる基本の総復習)	22	就職面接のための準備 ① (自己振り返りシート作成)
8	敬語の種類と使い方・案内のマナー (立場に応じた言葉づかい)	23	就職面接のための準備 ② (自己紹介シートの作成)
9	接客用語の基本・ドアの扱い方のマナー (クッション言葉・婉曲表現・面接対策)	24	就職面接のための準備 ③ (質疑応答の実践)
10	接客用語の応用・電話対応練習 (言葉遣い実践)※8～10確認テスト	25	模擬 個人面接の実践 (質疑応答の実践)
11	名刺の扱い方・サービス2級検定対策 (名刺交換の実践練習)	26	就職面接のための実践練習※実技試験 (入室～退室まで 1分間自己PR)
12	アナウンスの仕方 実践 録音 (サービス接客検定記述問題 対応)	27	グループディスカッションのマナー (グループ面接のマナー)
13	掲示文の書き方 実践 (サービス接客検定記述問題 対応)	28	電話対応のマナー・メールのマナー (就職活動での電話・メールのマナー)
14	終業テスト対策授業 (受付、案内、エレベーター、敬語復習)	29	電話対応の実践 (てるコーチを使って実践)
15	前期まとめと総復習	30	コミュニケーションスキルの実践 (指示と報告のワーク)

【成績評価方法】

◎課題提出物 60% ◎修業テスト・確認テスト 30% ◎授業態度 10%

【教科書・参考書】

田野直美 著『ビジネスでの常識集』トータルマナー株式会社 最新版
元吉昭一 著『サービス接客検定 実問題集 1-2級』財団法人実務技能検定協会 早稲田教育出版 最新版

【教材・教具】

ビデオカメラ・モニター、てるコーチ、ボイスレコーダー
サービス接客検定 準1級 ロールプレイング DVD、その他 随時 練習プリント

科目名	服飾素材論 I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	スタイリストコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義100%
時間数	30	作成者	河本 育子

【科目の到達目標】

ターゲットのニーズに応じた素材提案ができる人材の育成を目指す。
 アパレル素材についての基礎知識を修得し、その代表的な布地の特性を理解する。

【科目の概要】

多様化するニーズ、マーケットやチャネルの変化の中にあっても、材料となる素材を抜きにファッションを語る事はできない。本教科では、講義によりアパレル素材の基礎知識を体系的に修得。また教科書等の実物サンプルを通して、布地特性の理解を深め、ターゲットに応じた素材選を学んでいく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション
ファッショントレンドと素材の関連性について
- 2 素材とは？(繊維・糸・布地)
- 3 生地の種類(織物・編物)について
- 4 ・繊維の種類について
天然繊維・化学繊維
- 5 繊維の特性
- 6 ・天然繊維(1)・植物繊維—綿
代表的な綿織物
- 7 ・天然繊維(2)・植物繊維—麻
代表的な麻織物
- 8 ・天然繊維(3)・動物繊維—毛
- 9 代表的な毛織物
- 10 ・天然繊維(4)・動物繊維—絹
- 11 代表的な絹織物
- 12 生地の加工・色・パターン(柄)について
- 13 まとめ
- 14 総復習(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

【成績評価方法】

提出物(レポート)の評価 60 % 期末試験 30 % 授業態度 10 %

【教科書・参考書】

- ・一見 輝彦、『わかりやすいアパレル素材の知識』,ファッション教育社, 2012年
- ・田中道一、『生地の事典』,株式会社みずしま加工, 2013年

【教材・教具】

筆記用具

科目名	カラーリング	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	スタイリストコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義50% 実習50%
時間数	30	作成者	小西 祐司

【科目の到達目標】

ファッション商品にとって色彩は重要な要素である。この科目では色彩に関する知識を修得し、カラーコーディネート力を高めることを目標とするとともに、得た知識を活用してスタイリングの演習や撮影等の現場で実践し、プレゼンテーションできる力を養成する。

【科目の概要】

テキスト『デザインの色彩』や画像・映像等の資料を使用して色彩の基本について講義と演習を行なう。またガッシュやカラーカードを活用した配色の実習をとおして色彩の知識を深める。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 三原色からの色作り
- 2 色相対比1(配色演習2色・3色)
- 3 色相対比2(配色演習5色)
- 4 三属性 色相環のかきかた
インテリアル・デザイン
- 5 映像・画像に見る色彩 1
- 6 カラーコーディネート演習1-1
スポーツ・ウェア
- 7 カラーコーディネート演習1-2
- 8 カラーコーディネートの仕組み
色を拾う
- 9 カラーコーディネートの仕組み
流行色
- 10 カラーコーディネート演習2-1(トーン配色)
絵画の色彩
- 11 カラーコーディネート演習2-2(トーン配色)
絵画の色彩
- 12 映像・画像に見る色彩 2
モノクローム
- 13 色彩理論「色彩と心理」
- 14 色彩理論「ファッションと色彩」
- 15 まとめ

【成績評価方法】

◎提出物の評価60% 期末試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

中田満雄 北畠耀 細野志尚 監修 財団法人日本色彩研究所『デザインの色彩』日本色研事業株式会社
WWDジャパン『WWD JAPAN』

【教材・教具】

デザインセット(デザインガッシュ/パレット/筆/筆洗)雑巾、B4ケント紙、配色カード(199色)
30センチ定規、カッターナイフ、ハサミ、ノリ、カッティングマット

科目名	ファッション史 I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	スタイリストコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 80 % 実習 20 %
時間数	30	作成者	松下絢子

【科目の到達目標】

国の文化の違い、美術、建築、音楽、映画など文化的関連性を学び、ブランド、デザイナー、トレンド、時代背景を知る。ファッションの現代史を理解した上で販売・企画のできる人材の育成を目指す。

【科目の概要】

1918年以降のパリモードとラグジュアリーブランドの誕生、現代のトレンドまでを様々なつながりから理解し、これからも続くファッション変化を予測できる基礎ファッション史知識の習得を目指す。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 映画とファッション史
- 2 音楽とファッション史①
- 3 音楽とファッション史②
- 4 音楽とファッション史③
- 5 ラグジュアリーブランドの誕生から現代 - シャネル、ディオール
- 6 ラグジュアリーブランドの誕生から現代 - サンローラン、ルイヴィトン グッチ
- 7 ラグジュアリーブランドの誕生から現代 - アントワープ6、マルタンマルジェラ、マックイーン
- 8 ジャパンブランドの誕生から現代 - 山本寛斎、ケンゾー、イッセイ、ギャルソン、ヨウジ
- 9 時代のアイコンとファッション史
- 10 時代のアイコンとファッション史
- 11 スポーツとファッション史
- 12 戦争と平和のファッションの関係
- 13 女性の変化で知るファッション史
- 14 ファッション消費の歴史 - SPA、ファストファッション、EC
- 15 修業試験

【成績評価方法】

課題60% 期末試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

「20世紀からのファッション史: リバイバルとリスタイル」横田尚美・原書房
「ストリート・トラッド: メンズファッションは温故知新」佐藤誠二郎・集英社
「ザ・ストリートスタイル」高村是州・グラフィック社
「イノベーター」で読むアパレル全史」中野香織・日本実業出版社

科目名	西洋美術史&デザイン史	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	スタイリストコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 80% 課題 20%
時間数	30	作成者	山本廣道

【科目の到達目標】

主として近世(ルネサンス)から現代美術に至る知識を獲得し、これまでの流れを踏まえ、その先端としての創作ができる人材を育成する。

【科目の概要】

初期ルネサンス美術から20世紀後半の西洋美術の歴史を通覧するとともに、各時代の代表的な画家や作品について解説する。また二回に一回(30分程度)4~5人である作品について考え結論を出すというグループワークを行う。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 初期ルネサンス美術1: マザッチョ、ピエロ・デラ・フランチェスカ、ボッティチェリなど
- 2 初期ルネサンス美術2: ルネサンス美術の特徴、遠近法(透視図法)とはなにか
- 3 盛期ルネサンス1: レオナルド・ダ・ヴィンチについて
- 4 盛期ルネサンス2: ミケランジェロ、ラファエロなど
- 5 マニエリスム美術: ティントレット、ブロンズイーノなど
- 6 バロック美術: ヴェルフリンによるバロック美術解釈、ルーベンス、ベラスケスなど
- 7 ロココ美術: ロココの特徴、ヴァトー、フラゴナールなど
- 8 19世紀の美術1: 新古典主義、ロマン主義
- 9 19世紀の美術2: レアリスム、マネの作品、印象主義
- 10 19世紀の美術3: 後期印象主義、世紀末美術
- 11 古代~中世の美術1
- 12 古代~中世の美術2
- 13 20世紀の美術1: キュビズム、ダダイズム、シュルレアリスムなど
- 14 20世紀の美術2: 第二次世界大戦後の美術
- 15 全体のまとめ、テスト問題の傾向

【成績評価方法】

平常点(演習問題、グループワーク、授業態度など)50%、テスト(期末一回)50%で評価を行う

【教材・教具】

教科書: 千足伸行監修 『新西洋美術史』(西村書店)

【教材・教具】